NEC Express5800シリーズ
モジュールエンクロージャ

2

運用・保守編

装置の運用および保守について説明します。

日常の保守（38ページ）
日常使用する上で確認しなければならない点やファイルの管理、クリーニングの方法について説明します。

障害時の対処（40ページ）
故障かな？と思ったときに参照してください。トラブルの原因の確認方法やその対処方法について説明しています。

保守ツール（44ページ）
保守ユーティリティの使い方について説明します。

移動と保管（45ページ）
本体を移動・保管する際の手順や注意事項について説明します。

ユーザーサポート（47ページ）
本製品に関するさまざまなサービスについて説明します。サービスは弊社、および弊社が認定した保守サービス会社から提供されるものです。ぜひご利用ください。

日常の保守

装置を常にベストな状態でお使いになるために、ここで説明する確認や保守を定期的に行ってください。万一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに保守サービス会社に保守を依頼してください。

アラートの確認

システムの運用中は、ESMPROで障害状況を監視してください。
管理PC上のESMPRO/ServerManagerにアラートが通報されていないか、常に注意するよう心がけてください。ESMPRO/ServerManagerの「アラートビューア」でアラートが通報されていないか チェックしてください。

●ESMPROでチェックする画面

ESMPRO/ServerManager

アラートビューア

STATUSランプの確認

N8142-36 EcoPowerGatewayのDC電源スイッチをONにし、エンクロージャと接続した後、エンクロージャ背面のファンボックス上のステータスランプ表示を確認してください。ランプの機能と表示の内容については「ハードウェア編」の6ページをご覧ください。万一、本体の異常を示す表示が確認された場合は、保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。

本体の電源は、接続しているN8142-36 EcoPowerGatewayのDC出力スイッチでOFF/ONします。

クリーニング

装置を良い状態に保つために定期的にクリーニングしてください。

警告

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

- **自分で分解・修理・改造はしない**
- **電源ケーブルを差し込んだまま取り扱わない**

エンクロージャのクリーニング

エンクロージャの外観の汚れは、柔らかい乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、次のような方法できれいになります。

- **シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の原因になります。**
- **ケーブル、エンクロージャ背面のコネクタ、本体内部は絶対に水などでぬらさないでください。**

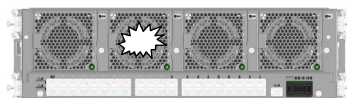
1. エンクロージャの電源がOFF（接続しているN8142-36 EcoPowerGatewayのDC出力ランプが消灯）になっていることを確認する。
2. エンクロージャ背面に接続されたDC電源ケーブルを抜く。
3. DC電源ケーブルのコンタクトピン部分についているほこりを乾いた布でふき取る。
4. 中性洗剤をぬるま湯または水で薄めて柔らかい布を浸し、よく絞る。
5. 汚れた部分を手順4の布で少し強めにこすって汚れを取る。
6. 真水でぬらしてよく絞った布でもう一度ふく。
7. 乾いた布でふく。

障害時の対処

「故障かな？」と思ったときは、ここで説明する内容について確認してください。該当することがらがある場合は、説明に従って正しく対処してください。

障害箇所の切り分け

万一、障害が発生した場合は、ESMPRO/ServerManagerを使って障害の発生箇所を確認し、障害がハードウェアによるものかソフトウェアによるものかを判断します。
障害発生個所や内容の確認ができたら、故障した部品の交換やシステム復旧などの処置を行います。

障害がハードウェア要因によるものかソフトウェア要因によるものかを判断するには、ESMPRO/ServerManagerが便利です。

モジュールエンクロージャ内の
障害発生箇所、および障害内容を確認

エラーメッセージ

本体になんらかの異常が起きるとさまざまな形でエラーを通知します。ここでは、エラーメッセージの種類について説明します。

サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ

管理用ポートと接続した端末に管理ツール（ESMPRO/ServerManager）をインストールしておくと、本体に何らかの障害が起きたときに管理用端末のディスプレイから障害の内容を知ることができます。

各種アプリケーションのインストールや運用方法については、インストレーションガイドやユーザーズガイドを参照してください。
ESMPROを使ったシステム構築や各種設定の詳細についてはオンラインヘルプで詳しく説明されています。

トラブルシューティング

思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容に従って本装置をチェックしてください。リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理に従ってください。
それでも正常に動作しない場合は、本装置と接続している管理用端末のディスプレイの画面に表示されたメッセージを記録してから、保守サービス会社に連絡してください。

本体について

[?] 電源がONにならない

□ 電源が本体に正しく供給されていますか？

→ DC電源ケーブルがN8142-36 EcoPowerGatewayに接続されていることを確認してください。

→ 専用のDC電源ケーブル（K410-213）を使用してください。また、DC電源ケーブルの被覆が破れていたり、コンタクトピン部分が折れていたりしていないことを確認してください。

□ 接続したN8142-36 EcoPowerGatewayが正常に起動していますか？

→ N8142-36 EcoPowerGatewayのAC電源コードが電源規格（定格）に合ったコンセントに接続されていることを確認してください。

→ N8142-36 EcoPowerGatewayに添付のAC電源コードを使用してください。また、AC電源コードの被覆が破れていたり、プラグ部分が折れていたりしていないことを確認してください。

→ 接続したコンセントのブレーカがONになっていることを確認してください。

□ 接続したN8142-36 EcoPowerGateway側のPOWERスイッチを押しましたか？

→ N8142-36 EcoPowerGatewayのPOWERスイッチを押して、電源ON（Powerランプが緑点灯）にしてください。

→ DC出力スイッチを押してDC出力ON（DC出力ランプが緑点灯)にしてください。

[?] ネットワーク上で認識されない

□ ケーブルを接続していますか？

→ 本体背面にあるネットワークポートに確実に接続してください。また、使用するケーブルがネットワークインタフェースの規格に準拠したものであることを確認してください。

→ 本体へ搭載するモジュラーサーバ側のユーザーズガイド内トラブルシューティングをご参照ください。

障害情報の採取

万一本装置に障害が起きた場合、ステータスランプの確認の他に、管理用端末上からもさまざまな障害発生時の情報を採取することができます。

保守ツール

本体に添付のEXPRESSBUILDER内には保守ツールが格納されており、本装置の予防保守、障害解析、設定等も行えます。

移動と保管

本体を移動・保管するときは保守サービス会社に連絡して、ラックからの取り外しを依頼してください。

⚠ 警告

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

- 自分で分解・修理・改造はしない
- 電源ケーブルを差し込んだまま取り扱わない

⚠ 注意

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

- 中途半端に取り付けない
- 落下注意
- 装置を引き出した状態にしない
- カバーを外したまま取り付けない
- 指を挟まない
- 高温注意
- ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない
- 複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない

重要

- フロアのレイアウト変更など大掛かりな作業の場合はお買い上げの販売店または保守サービス会社に連絡してください。
- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。装置を保管する場合は、保管環境条件（温度：-10～55℃、湿度：20～80%）を守って保管してください（ただし、結露しないこと）。

1. 本体に接続のN8142-36 EcoPowerGateway側DC出力スイッチをOFF（DC出力ランプ消灯）にする。
2. 本体に接続しているDC電源ケーブルをコネクタから抜く。
3. 本体に接続しているLANケーブルをすべて取り外す。
4. 本体に搭載しているモジュラーサーバをすべて取り外す。
5. ラックに搭載している場合は、13ページを参照して本体をラックから取り出す。
6. 本体に傷がついたり、衝撃や振動を受けたりしないようしっかりと梱包する。

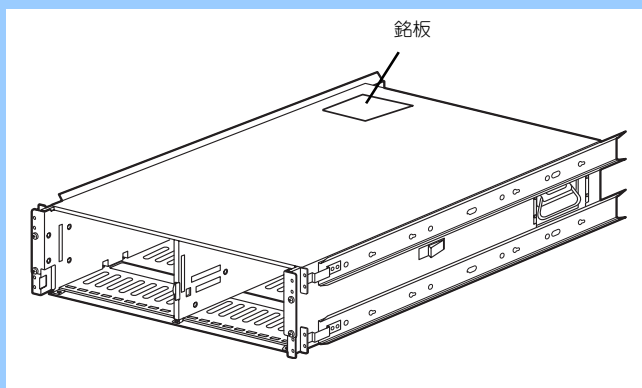
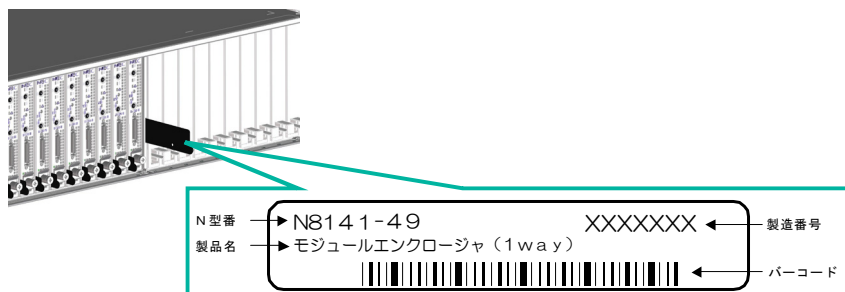
本装置やオプションのファンボックスは、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤動作や故障の原因となります。装置の移動後や保管後、再び運用する場合は、使用環境に十分なじませてからお使いください。

ユーザーサポート

アフターサービスをお受けになる前に、保証およびサービスの内容について確認してください。

保証について

本装置には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無償修理いたします。詳しくは『保証書』およびこの後の「保守サービスについて」をご覧ください。なお、本エンクロージャはN8100-1635Y Express5800/E110b-Mの内蔵オプションとして定義されます。
保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社に連絡してください。

- **弊社製以外（サードパーティ）の製品、または弊社が認定していない装置やインタフェースケーブルを使用したために起きた装置の故障については、その責任を負いかねますのでご了承ください。**
- **本体の上面に、製品の形式、SERIAL No.（号機番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また銘板の号機番号と保証書の保証番号が一致していませんと、保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがありますのでご確認ください。万一違う場合は、販売店にご連絡ください。**

修理に出される時は、天板に貼付されている銘板、またはスライドタグに記載されている型番、号機番号を伝えます。

保証書に記載されている保証を受けるためには、ユーザ登録が必要です。
インターネット（ClubExpressサイト）よりユーザ登録を行ってください。
<http://club.expresss.nec.co.jp>

修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、以下の手順を行ってください。

1. 電源ケーブルおよびスイッチハブと接続しているLANケーブルが正しく接続されていることを確認します。
2. 「障害時の対処（40ページ)」を参照してください。該当する症状があれば記載されている処理を行ってください。
3. 本装置に搭載しているモジュラーサーバ側の「障害時の対処」をご参照してください。該当する症状があれば記載されている処理を行ってください。
4. 本装置に接続しているN8142-36 EcoPowerGateway側の「障害時の対処」をご参照してください。該当する症状があれば記載されている処理を行ってください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社にご連絡ください。その際に本体のランプの表示やディスプレイ装置のアラーム表示もご確認ください。故障時のランプやディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。保守サービス会社の連絡先については、付録B「保守サービス会社網一覧」をご覧ください。
なお、保証期間中の修理は必ず保証書を添えてお申し込みください。

この装置は日本国内仕様のため、NECの海外拠点で修理することはできません。ご了承ください。

修理に出される時は

修理に出される時は次のものを用意してください。

- □ 保証書
- □ 故障時のランプ情報やディスプレイ装置に表示されたメッセージのメモ
- □ 障害情報（43ページに記載している情報などが含まれます。障害情報は保守サービス会社から指示があったときのみ用意してください。）
- □ 本体・周辺機器の記録
- □ 天板またはスライドタグに記載されている型番、号機番号

補修用部品について

本装置の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

保守サービスについて

保守サービスはNECの保守サービス会社、およびNECが認定した保守サービス会社によってのみ実施されますので、純正部品の使用はもちろんのこと、技術力においてもご安心の上、ご都合に合わせてご利用いただけます。
なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、弊社営業担当または代理店で承っておりますのでご利用ください。保守サービスは、お客様に合わせて2種類用意しております。

保守サービスメニュー

契約保守サービス	お客様の障害コールにより優先的に技術者を派遣し、修理にあたります。この保守方式は、装置に応じた一定料金で保守サービスを実施させていただくもので、お客様との間に維持保守契約を結ばせていただきます。さまざまな保守サービスを用意しています。詳しくはこの後の説明をご覧ください。
未契約修理	お客様の障害コールにより、技術者を派遣し、修理にあたります。保守または修理料金はその都度精算する方式で、作業の内容によって異なります。

NECでは、お客様に合わせてさまざまな契約保守サービスを用意しております。
サービスの詳細については、
「PCサーバ　サポート情報（ http://support.express.nec.co.jp/pcserver/ ）」
をご覧ください。

- **サービスを受けるためには事前の契約が必要です。**
- **サービス料金は契約する日数/時間帯により異なります。**

情報サービスについて

本製品に関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。
※　電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

ファーストコンタクトセンター
TEL. 03-3455-5800（代表）

受付時間／9:00～12:00、13:00～17:00　月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

インターネットでも情報を提供しています。

［NEC コーポレートサイト］　http://www.nec.co.jp/

製品情報やサポート情報など、本製品に関する最新情報を掲載しています。

http://www.fielding.co.jp/

NECフィールディング（株）ホームページ：メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介しています。